

2020年3月期 第2四半期決算の概要

2019年11月6日

みずほリース株式会社

MIZUHO

2019年度第2四半期の総括

- 差引利益は289億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は89億円を計上し、共に半期ベースで過去最高益を更新
 - － 各段階利益は通期予想に対して順調に進捗
- 足元の業績、並びに、2019年12月に創立50周年を迎えることを踏まえ、株主の皆様への感謝の気持ちを込め、2円の記念配当を実施
 - － 年間配当金は前年度比+4円増加の82円を予定

(億円)	17年度 上期	18年度 上期	19年度 上期	増減額	増減率	19年度 通期予想*	進捗率
売上高	1,784	1,798	2,549	+751	+42%	4,500	57%
差引利益	222	250	289	+39	+16%	-	-
営業利益	95	111	126	+15	+14%	242	52%
経常利益	100	130	129	▲1	▲0%	253	51%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	67	86	89	+3	+3%	170	52%

*2019年5月14日公表

決算概要

(億円)	17年度 上期	18年度 上期	19年度 上期	増減額	増減率	
売上高	1,784	1,798	2,549	+751	+42%	不動産ブリッジ案件の満了に伴う 物件売却により増加
差引利益	222	250	289	+39	+16%	航空機、不動産等の注力分野での取 り組みが奏功し、差引利益は大幅に 増加
資金原価	34	41	50	+9	+22%	
売上総利益	188	209	240	+31	+15%	外貨資産の増加に伴う、外貨借入の 増加が主因
信用コスト	▲4	▲4	▲5	▲1	-	
営業利益	95	111	126	+15	+14%	信用コストは戻入超過
営業外収益	7	24	8	▲16	▲66%	
経常利益	100	130	129	▲1	▲0%	前年同期に投資収益が発生
親会社株主に帰属する 四半期純利益	67	86	89	+3	+3%	
差引利益率	2.76%	2.79%	2.86%	+0.07pt	-	差引利益率は継続して上昇

(注) 差引利益率 = 差引利益 (年換算値) ÷ 営業資産 (平均残高)

(億円)	18/3末	19/3末	19/9末	増減額	増減率
営業資産残高	16,830	20,214	20,256	+42	+0%
純資産	1,546	1,822	1,891	+69	+4%
自己資本比率	8.2%	8.0%	8.3%	+0.3pt	-

事業の状況

(億円)	17年度 上期	18年度 上期	19年度 上期	増減額	増減率
契約実行高	6,416	7,950	6,242	▲1,708	▲21%
リース・割賦	2,055	2,699	3,242	+543	+20%
ファイナンス	4,361	5,226	3,000	▲2,226	▲43%
その他	-	26	-	▲26	-

- リース・割賦は、産業・工作機械、情報通信機器、輸送用機器を中心に増加
- ファイナンスは、短期の商流ファイナンスの減少が主因

(億円)	18/3末	19/3末	19/9末	増減額	増減率
営業資産残高	16,830	20,214	20,256	+42	+0%
リース・割賦	11,222	13,061	13,788	+727	+6%
ファイナンス	5,569	7,090	6,406	▲684	▲10%
その他	39	63	62	▲1	▲2%

- リース・割賦の残高は、契約実行高の増加に伴い増加
- ファイナンスは、短期の商流ファイナンスの残高が減少

契約実行高／リース・割賦セグメント

機種別契約実行高

(億円)	17年度 上期	18年度 上期	19年度 上期	増減額	増減率	
産業・工作機械	379	606	873	+267	+44%	大口案件を取り込み
情報通信機器	423	450	652	+202	+45%	幅広く設備投資ニーズを捕捉
輸送用機器	267	287	385	+98	+34%	航空機オペレーティングリースの実行により、伸長
土木建設機械	230	195	178	▲17	▲8%	
医療機器	83	77	104	+27	+35%	
商業・サービス業用機器	144	198	146	▲52	▲26%	
事務用機器	48	41	51	+10	+26%	
その他	483	846	852	+6	+1%	
うち不動産	252	733	690	▲43	▲6%	ブリッジ案件の実行は増加するも、前年同期に大口の不動産リース案件があり、全体では減少
合計	2,055	2,699	3,242	+543	+20%	

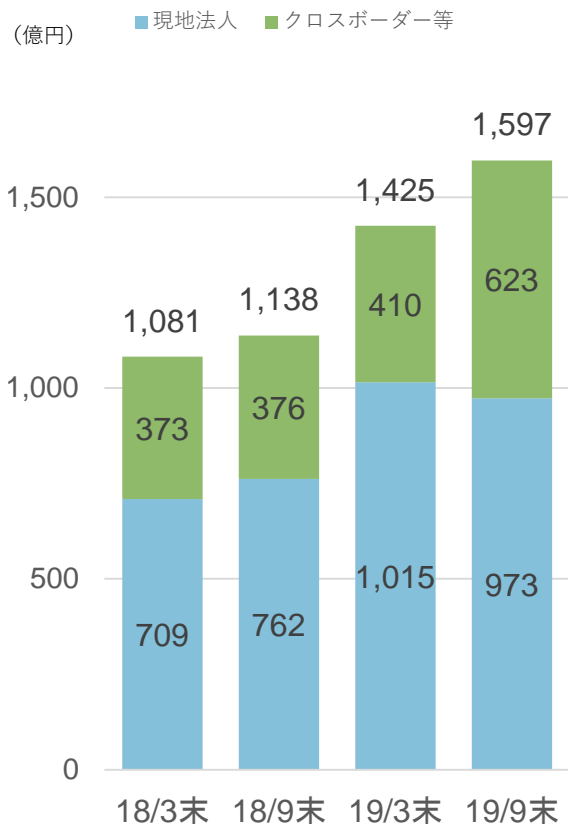
契約実行高／ファイナンスセグメント

契約実行高

(億円)	17年度 上期	18年度 上期	19年度 上期	増減額	増減率	
商流ファイナンス・ 融資等	4,107	4,463	2,549	▲1,914	▲43%	短期の商流ファイナンスが減少
航空機	78	64	80	+16	+24%	
不動産	127	600	262	▲338	▲56%	前年同期に大口ブリッジ案件を実行
船舶	48	98	109	+11	+11%	
合計	4,361	5,226	3,000	▲2,226	▲43%	

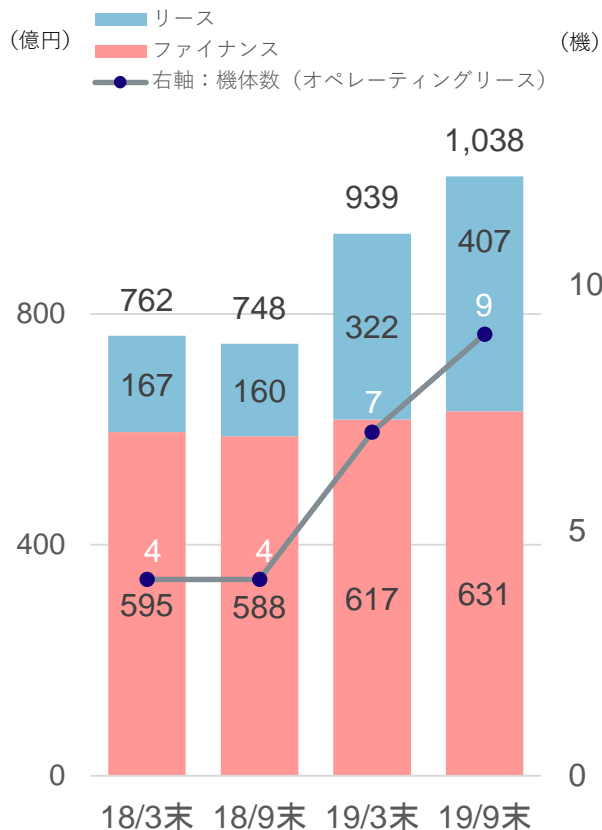
残高の状況（グローバル／航空機／不動産）

グローバル



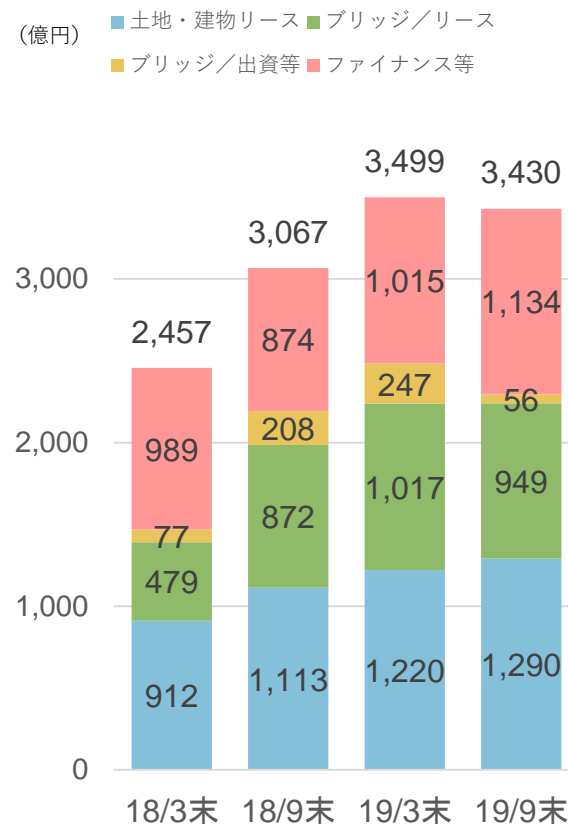
- クロスボーダー案件の積み上げにより、残高は着実に増加

航空機



- 航空機オペレーティングリースの機体取得が増加

不動産

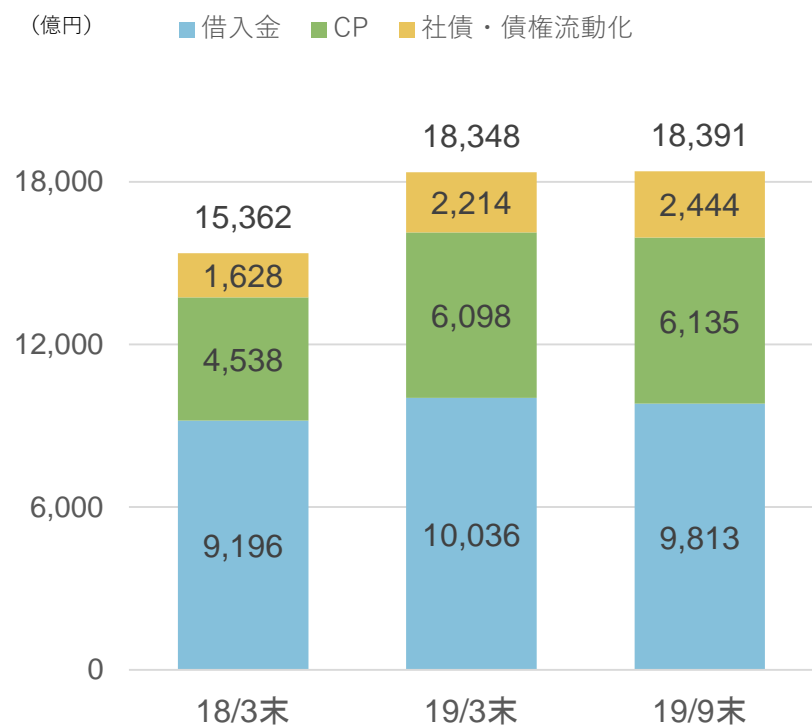


- REITへの物件売却に伴い、ブリッジの残高は減少するも、土地・建物リース、およびファイナンス等の残高は増加

資金調達等の状況

- 新規の社債発行（3年債 200億円）を始め、積極的に市場調達を活用
- 資金原価の増加は、外貨資産の増加に伴う外貨借入増によるもの

有利子負債残高



資金原価（率）

(億円)

	17年度 上期	18年度 上期	19年度 上期
資金原価	34	41	50
資金原価率	0.42%	0.46%	0.49%

(注) 資金原価率 = 資金原価（年換算値） ÷ 営業資産（平均残高）

外部格付の状況

格付機関	格付	
R&I	長期	A
	短期	a-1
JCR	長期	A
	短期	-

業績予想及び配当

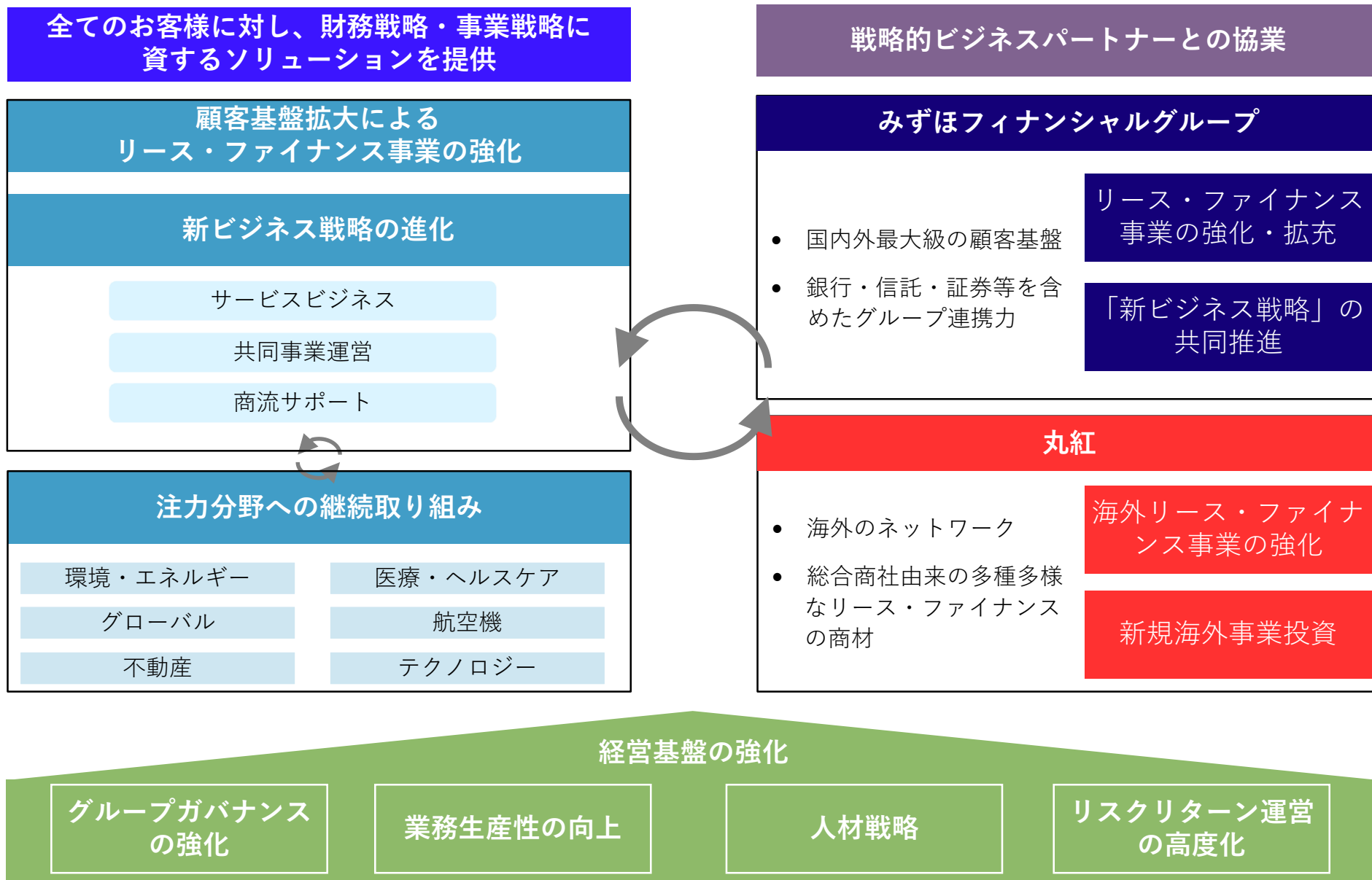
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、年度の利益計画に対して順調に進捗
- 足元の業績、並びに、創立50周年を迎えることを踏まえ、株主の皆様への感謝の気持ちを込め、2円の記念配当を実施
 - － 年間配当金は前年度比+4円増加の82円と18期連続で増配を予定

(億円)	2018年度 (実績) ①	2019年度 (予想) ②		増減額 ②-①	増減率 ②/①
		上期実績	進捗率		
売上高	3,849	4,500	2,549	57%	+651 +17%
営業利益	229	242	126	52%	+13 +6%
経常利益	242	253	129	51%	+11 +4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	166	170	89	52%	+4 +2%

	2018年度 (実績) ①	2019年度 (当初予想) ②	増減 ②-①	2019年度 (変更後) ③	
				増減 ③-①	
年間配当金	78円	80円	+2円	82円	+4円
中間配当金	38円	38円	±0円	40円 (うち記念配当2円)	+2円
期末配当金	40円	42円	+2円	(予定) 42円	+2円
配当性向	20.1%	23.0%	+2.9pt	23.6%	+3.5pt

決算補足資料

第6次中期経営計画（2019～2023年度）の概要

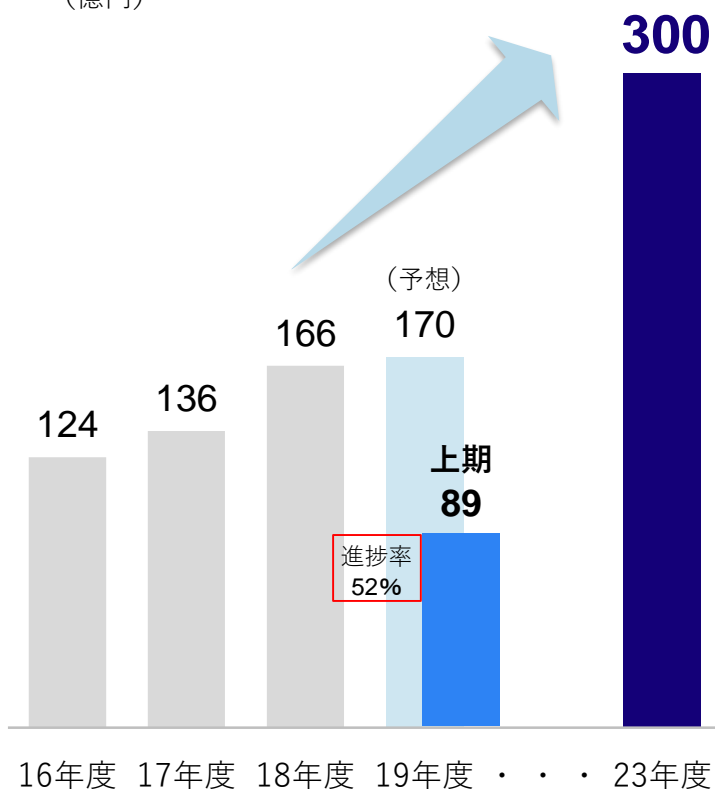


第6次中期経営計画（2019～2023年度）の最終年度の連結数値目標

親会社株主に帰属
する当期純利益

300億円

(億円)

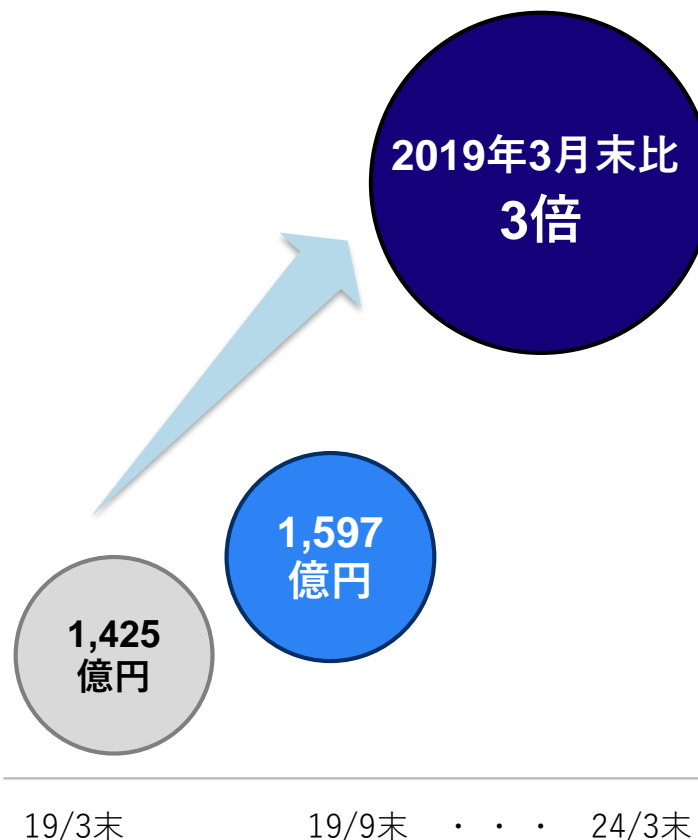


19年度上期実績 89億円

(通期予想 170億円)

グローバル分野
の残高

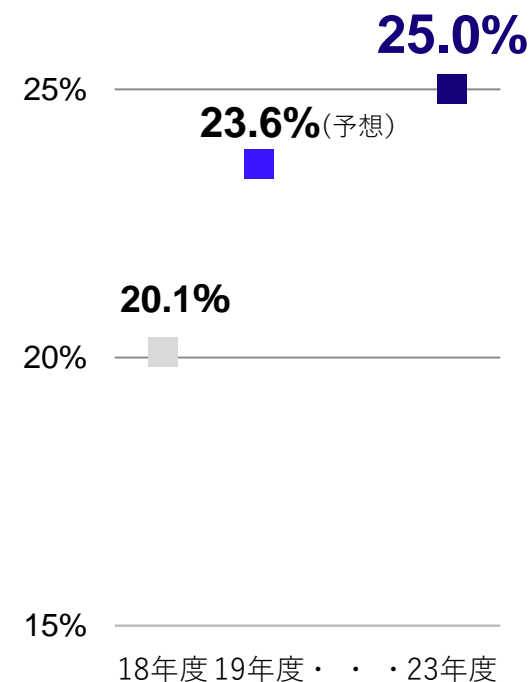
2019年3月末比
3倍



19年9月末残高 1,597億円

配当
性向

**25%以上を
目指す**



19年度予想配当性向

23.6%

お問い合わせ先

みずほリース株式会社

経営企画部

コーポレートコミュニケーション室

TEL:03-5253-6540

FAX:03-5253-6539

本資料には現時点で入手している情報に基づき当社が判断した将来の予測数値が含まれておりますが、一定のリスクや不確実性が含まれており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
将来に関する事項については様々な要因により変動することがございますので、ご留意下さい。

MIZUHO